

人が生き、成果があがる組織づくりのための 組織開発リーダーシップ基礎講座

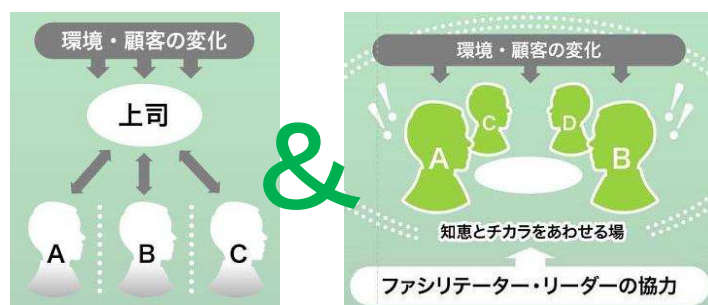
～「関係の質」を高める3つの場づくり～

多様な知識や経験をもったメンバーが主体的にその持ち味を生かし、知恵と力をあわせて協働することができれば、その組織は継続的に成果をあげていくことができるでしょう。そのためには、組織のリーダーたちが指示命令による「タテ型」のリーダーシップだけでなく、協働によって「関係の質」を高める「ヨコ型」のリーダーシップ（ファシリテーター型リーダーシップ）を実践することが求められます。

ファシリテーター型リーダーシップは、職場に「心理的に安全な場」をつくり、一人ひとりが自由で多様な発言をすることを促します。また、ビジョンの共有や、いま取り組むべき課題の共有を促し、職種や役割、部門の壁をこえた協働を促します。

「人が生き、成果があがる組織づくり」（組織開発）のためには、組織のリーダーたちがファシリテーター型リーダーシップを身につけ、実践することが必須なのです。

この講座では、組織開発を促すスキルである「ファシリテーター型リーダーシップ」について理解を深め、現場で実践するためのポイント（3つの場づくり）を学んでいただきます。



<タテ型とヨコ型のリーダーシップの使い分け>

◆日時 2019年4月20日（土）10時～17時30分

◆会場 大阪産業創造館（大阪市中央区本町1-4-5 地下鉄「堺筋本町」駅から徒歩約5分）

◆講師 広瀬 義浩、嶋田 至（合同会社チーム経営）

◆受講料 18,000円（税込、事前振込）

*この講座またはファシリテーター型リーダーシップ講座を
修了された方の再受講は半額です。

◆定員 18名（最少催行5名）

◆主催 合同会社チーム経営（LLCチーム経営）

◆申込 チーム経営のホームページから。またはメール、ファックスで。



*講座名、お名前、所属、
連絡先をご記載ください。

info@teamkeiei.com FAX:06-7878-6670

<https://teamkeiei.com/>



◆この講座のねらい

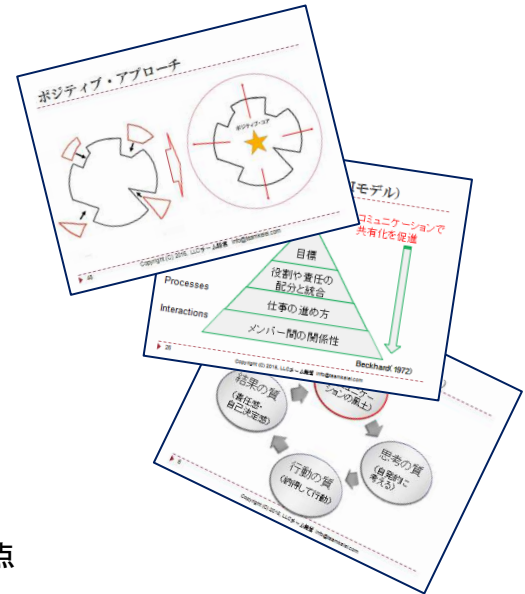
- ・組織開発を促すファシリテーター型リーダーシップについて理解する
- ・組織づくりを促す基本的なスキルを養う
- ・リーダーのためのコミュニケーションスキルを養う
- ・自分のかかわり方の特徴に気づき、自分の内面に向き合う力を養う

◆この講座のプログラム

1. 「人が生き成果があがる組織」とは何だろうか？
2. 2つのリーダーシップを使い分ける
3. 組織づくりの要因1～「氷山モデル」の理解とグループプロセスをみる視点
4. 組織づくりの要因2～場への介入(働きかけ)のスキル
5. リーダーのコミュニケーション～傾聴と確認、自己開示とフィードバック
6. 組織づくりの要因3～コンセンサス(合意形成)を促すポイント
7. 自分に向き合う～マインドフルネスとコンパッション(共感)

*プログラムは一部変更する場合があります。

*ラボラトリー方式の体験学習法にもとづいて学びます。テーマごとに小講義とグループ実習をおこない、実習のあとはグループでふりかえり、各人が行動仮説をつくります。



<講義でつかう資料の一部>



<グループ実習や模擬会議の様子>

◎広瀬義浩のプロフィール

ワークショップ型の研修をおこなったり、組織開発コンサルタントとして組織に支援者として入り、組織の風土を改革している。

南山大学人間関係研究センタートレーナトレーニング修了。

製造業、金融業、販売店、医療機関、公共団体などで、ファシリテーション研修、リーダーシップ研修、チームビルディング研修、組織開発プロジェクト、マインドフルネス研修などに携わっている。

近畿大学総合社会学部非常勤講師 (ファシリテーション担当)

◎嶋田至のプロフィール

長年、ITやインターネットビジネスの分野でプロジェクトマネジメントや事業開発などに携わる。

2008年、合同会社チーム経営 (LLCチーム経営) の設立に参画し、その後、代表に就任。

さまざまな組織を対象に、組織開発のコンサルティング、リーダー育成、対話型組織開発のファシリテーションなどに携わったり、組織開発に関する講演・執筆をおこなっている。

大阪府看護協会 認定看護管理者教育課程 (サードレベル) 「組織デザイン論」講師。

<https://teamkeiei.com/>